

令和5年度(令和4年度実施事業分)主要事業評価シート					No.	26-3		
PDCA	主要事業名	市営住宅用途廃止事業	部課名	建設部建築課	担当 内線	宗森 461		
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 4 - 2 - 1 単位施策： 市街地 全体事業期間： 令和 3年度 ~ 10年度 全体事業費等： 513,511 千円 会計 一般会計 歳出科目： 07.06.01.02.56					目標項目（予算計上時に作成） 予算見積書で活用		
	事業概要等	事業概要： 市営住宅長寿命化計画に基づき、用途廃止する住宅の入居者と移転交渉を円滑に進めることで、市営住宅管理戸数を適正な数まで縮小させる。 事業目的： 適正な市営住宅の管理戸数となるように、計画に基づいて管理戸数を減少させる。 事業内容： 老朽化した君ヶ橋住宅1・2棟及び長根西住宅の移転を進め、用途廃止を行う。 問題点・課題等： 用途廃止する市営住宅の既存入居者の退去に時間を要し、計画の遅れが懸念される。						
	予算額	主要事業とする理由						
	7,275 千円	本市として市営住宅の適正な管理戸数とする必要があるため。						
	財源内訳	得られる成果						
	市費 7,275 千円	老朽化した市営住宅を用途廃止することで、適正な管理戸数とすることができる。						
	国費 0 千円	目標値や目指すべき状態						
	県費 0 千円		令和2年度	令和3年度	令和4年度		単位	
	その他 0 千円	既存入居者の移転の進捗率	実績値	—	43.6		—	%
			目標値	—	40		80	%
D 実績 得られた成果と	決算額	得られた成果						
	5,535 千円	用途廃止する住宅の入居者と個別に交渉し、移転を進めた。						
		成果指標			令和4年度	単位		
		既存入居者の移転の進捗率	実績値	76.7	%			
			目標値	80.0	%			
	C 課題の整理	事業の評価・課題	B 用途廃止する住宅の入居者と交渉し移転を進め、君ヶ橋住宅1・2棟については、全ての入居者の移転が完了した。					
		A 課題後の決方向性	現状維持 君ヶ橋住宅1・2棟は、除却工事を進める。長根西住宅の入居者とは引き続き移転交渉を実施し、適正な市営住宅の管理戸数となるように用途廃止を進める。					
			観点別評価	必要性	有効性	効率性		
		①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 大きい	⑦コスト削減 余地 ない				
		②市民ニーズ -	⑤成果向上の余地 ある	⑧受益者負担適正化余地 ない				
	③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ない						

評価項目（決算時に作成）
主要施策の成果報告書で活用